

小金井市議会議員／情報公開こがねい 共同代表

渡辺大三 NEWS



編集発行 情報公開こがねい ○事務所 〒184-0003 緑町3-10-31
○電話 090(3345)6929 ○FAX 042(381)5074
○Email jyohou.kougai.koganei@gmail.com ○Twitter @watanabedaizou

国政が大きく変わった昨年が終わり、新しい年が始まりました。今年も宜しくお願ひ申し上げます。本年最初のレポートです。御一読いただければ幸いです。

高額手当削減へ、一歩前進

昨年12月の議会で、小金井市職員に支給されている住居手当の支給率を、東京都職員と同一水準にまで引き下げることが決まりました。

これまでは東京都職員の約2倍という異常な高水準での支給が続いており、私は議会質疑で何度も何度も引き下げを求めてまいりましたが、これで正常化に向けて一歩前進したことになります。

引き下げで生み出される財源は、平成24年度(本年度)が1050万円、25年度が3760万円、26年度が4150万円、27年度が4321万円と試算されます。

住居手当の引き下げは、昨年の直接請求の主要な内容の一つでもありました。本会議の採決で直接請求に賛成した議員は私だけで、他の議員は全員が反対でしたが、今回の改正には直接請求の影響が強く作用しており、改めて「市民が動けば政治が変わる」という思いを強くいたしております。

しかし、高額人件費・高額退職金・高額手当問題では、未解決な項目も多々あります。気をゆるめずに、一刻も早い正常化を求めてまいります。

ごみ問題について

一昨年12月の市長選における稲葉市長の選挙公約は、「平成25年3月までに、将来の可燃ごみ処理について、実現可能な方策を示す」となっていました。

自ら具体的に期限を切ったわけですから、当然何か「自力で達成し得る方策」を思い描いての公約なのだろうと思っていました。

ところが、「自力で達成し得る方策」は何もなく、いつか、どこかの自治体が「救済」してくれるのを待つだけだったという実態が赤裸々になってきています。

そのような中、すでにご存知のとおり、日野市が、同市内に施設を建設し、小金井市及び国分寺市と共同処理を行うという方針を打ち出しました。報道によれば、昨年5月に東京都が日野市に対して打診したことが契機になったようです。

小金井市議会としては、小金井市の苦境に対して手を差し伸べてくださった日野市の方針を多とし、これを慎重に見守る姿勢をとっています。

現在は、日野市当局が、日野市の施設周辺住民の皆様への説明を行なっている段階です。廃棄物処理施設の立地は極めてデリケートな問題ですので、詳しい記述は避けますが、事が成就するよう、他会派とも協調して対応してまいりたいと考えています。

▼渡辺大三のプロフィール▼

○昭和41年、岩手県水沢市生まれ。秋田県横手市・宮城県仙台市・山形県山形市で幼少期を過ごす。○昭和50年(小学校3年生の時)、小金井市貫井北町に転入。○小金井市立本町小学校(本町)、小金井市立小金井第一中学校(桜町)・東京都立小金井北高等学校(緑町)・中央大学法学部政治学科を卒業。○河北新報社(本社=仙台)で新聞記者。編集局勤務。○地元衆議院議員の秘書。○平成5年、小金井市議選に初当選(26歳)。以降、5期連続当選。○これまでに、議会では、議会運営委員長・予算特別委員長・行財政改革調査特別委員長・ごみ処理施設建設等調査特別委員長・議会報編集委員長などを務める。○46歳。